

タングステンの資源循環における 現状・課題と必要な支援

本日の要点

特定国による輸出規制の影響を受け、タングステン原料の不足に加え、サプライチェーンが混乱。
備蓄・前処理・国内外循環・設備稼働維持・需要創出一体でサプライチェーンの均衡、強化に取り組む。

2026年9月30日

一般社団法人日本機械工具工業会 概要

(1) 名称 一般社団法人 日本機械工具工業会

(英語名：Japan Cutting & Wear-resistant Tool Association、略称：JTA)

(2) 設立 2015年6月3日

・超硬工具協会（設立1948年4月）及び日本工具工業会（設立1948年3月）の統合により設立。

(3) 目的

日本の機械工具（切削工具・耐摩耗工具など）における製造業の健全な発展を図り、産業経済の発展に寄与

(4) 主な事業

①機械工具産業の振興への貢献

②生産、出荷、輸出入に関する調査

③技術、開発、安全性及び標準化の推進

(5) 会員（2026年3月31日現在） 133社（正会員：82社、賛助会員：51社）

会員各社の従業員合計：約14万人

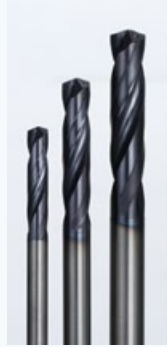
・切削・耐摩耗・鋌山土木工具、超硬合金素材・原料メーカー等で構成

(6) 会員主要製品

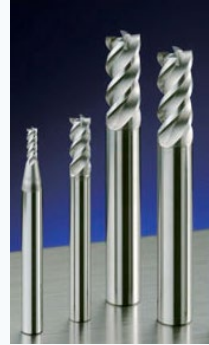
① インサート



② ドリル



③ エンドミル



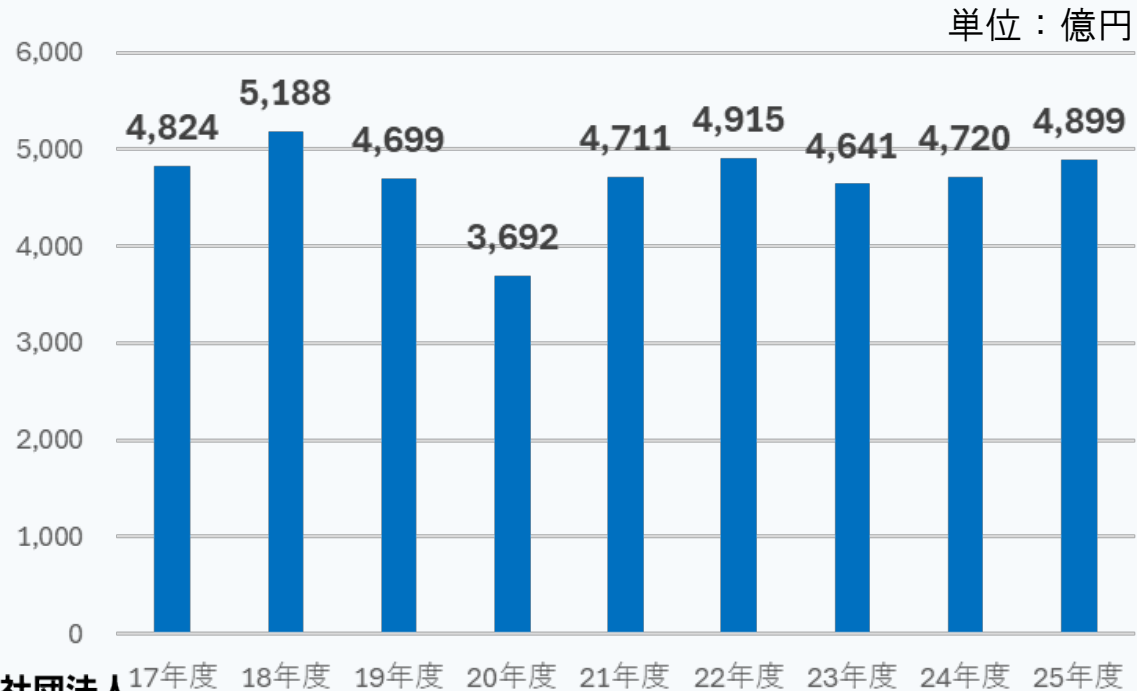
④ タップ



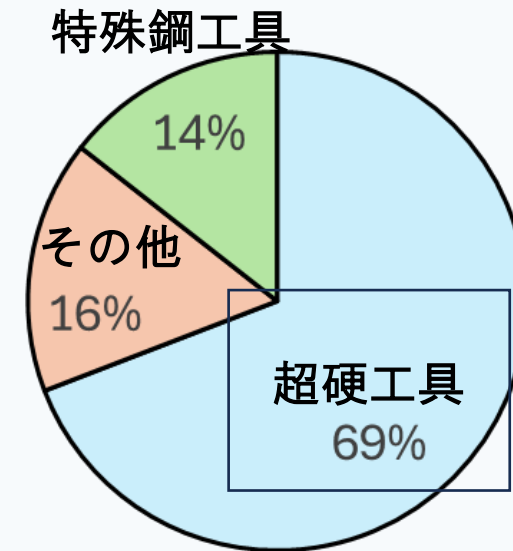
⑤ 耐摩耗工具



(7) 会員生産額



< 素材別内訳 (25年度) >



タングステン（超硬工具）の資源循環における支援策（概要）

現在：処理能力不足 → スクラップが滞留 / 2028～2029年：国内外でリサイクル・処理能力増強の予定

→ ・スクラップの国内確保・保有に対する支援

- ・処理能力増強されるまでの対応
- ・サプライチェーンにおいて能力不十分な機能への対応
- ・事業環境激変時のサプライチェーン維持のための対応
- ・サプライチェーン維持のための設備・技術・人員を確保するための仕組み

必要な経済的支援

支援対象・制度設計

その他

- ・備蓄・在庫：
 - ・国家備蓄の対象拡大
 - ・民間安全在庫確保への支援
- ・投資：
 - ・設備やシステム投資支援
- ・能力維持
 - ・安定稼働支援
 - ・長期契約への支援

- リサイクル能力拡大
 - ・回収量拡大
（国内へのスクラップ循環）
 - ・事業性確保
 - ・再生材需要創出